



ご協力ありがとうございました!



## やっぷー食の体験フェスタに フードバンク啓発ブースを出展しました!

令和7年10月18日(土)、養父地域局駐車場にて開催された「やっぷー食の体験フェスタ」(主催:南但青年会議所)に、フードバンクの啓発ブースを出展しました。

本イベントは、食の楽しさや食文化を体験できる場として企画され、こども食堂の周知や地域福祉の理解促進を目的に、多くの団体が協力して開催されました。

イベントでは、食品支援活動「フードバンク」「フードドライブ」について理解を深めていただくために、啓発ブースを設置しました。食品ロスの現状と、皆様から寄附いただいた食品が、支援を必要とする方々や、こども食堂に役立てられる流れを紹介するパネル展示を行いました。

また、「フードドライブにご協力ください」と記した啓発カードを配布し、継続的な参加を呼びかけました。

当日は、12名の方から、合計61品目、111点の食品を寄附いただきました。来場者からは「初めて知った」「自分にもできる支援だと感じた」といった声が寄せられ、地域の皆さまの関心と協力の広がりを実感することができました。

会場では、赤い羽根共同募金のマスコットキャラクター「あかはねちゃん」も登場し、募金への協力を呼びかけました。

やっぷー食の体験フェスタの様子



ご家庭で  
眠っている食品を  
お持ちください!!

あなたの寄付が、誰かの食卓を支えます /

あなたの食品、未来の笑顔へ  
フードドライブ

フードドライブ  
随時受付して  
います!!



食品ロスを減らし、地域の  
困っている方、こども食堂などに  
食を届ける活動です。

養父市社会福祉協議会 各支部まで!!

未開封で包装や外装が破損していないもの

包装や外装を他のものに押し替えていないもの

賞味期限が2か月以上あるもの

生鮮食品以外のもの





# つながる想い、支え合いで育てる食の安心

令和7年度 第1回

食品アクセス地域協議会 (令和7年9月17日開催)

前回の令和6年度第1回協議会(令和7年2月21日開催)で共有された課題をもとに、それらの解決に向けた新たな取り組みについて議論を深めました。

また、「ひとり暮らし高齢者アンケート調査」の結果報告、フードバンク事業の実績報告、生活困窮者への支援状況について共有しました。

食品アクセス地域協議会でグループワークの発表をする委員▶



## ひとり暮らし高齢者アンケート調査結果報告

令和7年3月から7月にかけて、八鹿・養父・大屋地域のひとり暮らし高齢者を対象に、食品の調達や買い物に関する困りごとを把握するための訪問調査を行いました。(関宮地域は昨年実施済)調査は民生委員・児童委員・民生児童協力委員・ボランティアの皆さんのご協力のもと行いました。(以下ひとり暮らし高齢者アンケート調査より抜粋)

### 交通手段がない

- ・車がないので買い物に行けない
- ・バスの本数が少なくて不便

### 体力・健康面の不安

- ・足が悪くて遠くまで歩けない
- ・重い荷物を持つのがつらい

### 店が遠い・選択肢が少ない

- ・近くにスーパーがなく、品数も少ない
- ・コンビニしかなく、野菜などが手に入りにくい

### 買い物の頻度が減っている

- ・週に1回しか買い物に行けない
- ・天気が悪いと外出できない

### 物価高騰の影響

- ・食品の値段が上がって困っている
- ・安い店まで行くのが難しい

アンケートからは、移動手段や体力の不安、買い物環境の変化など、日々の暮らしの中で困りごとを感じておられる方が多くいらっしゃるようになりました。



グループワークで「買い物困難者部会」と「経済的困難者部会」に分かれ、地域における食品アクセスの多様な課題と支援の方向性について意見交換を行いました。

「買い物困難者部会」では、高齢者や移動手段に制約のある方々が「自分の意志で、行きたいときに行ける」環境づくりを目指し、免許返納後の生活を支えるために、移動販売や買い物代行など、買い物を支援する仕組みがあると安心という意見や、タクシー・やぶくるの利用料助成事業の周知などについて協議しました。

「経済的困難者部会」では、「支援が届きにくい人に、どう届けるか」をテーマに、こども食堂の拡充やフードバンクの拠点拡大と周知、8050問題、ひきこもり、ヤングケアラーなど、周囲に相談できずに悩んでいる方への支援などが話し合われました。

福祉関係者、企業、地域が連携する重要性が確認され、今後の取り組みに向けた有意義な協議となりました。

## 食の安心は、地域のつながりから

～支え合いの輪を広げながら、誰もが暮らしやすい社会へ～

